

VIDA DE SAN MILLÁN DE LA Cogolla II

Translated by Tsuyomasa Ota

Abstract

It is believed that this work was written between the years 1230 and 1236, and is probably the first work composed by the cleric Gonzalo de Berceo.

It narrates the life of the Catholic saint San Millán (in Latin Sanctus Aemilianus). He was a priest and hermit and the founder of the Benedictine monastery that bears his name. He lived between 474–574.

This work, written in the erudite form of *cuaderna vía* (four-fold way), appears to be inspired by the Latin hagiography of Bishop San Braurio de Zaragoza in the times of the Visigoths in the sixth century.

This time translation is made from the strophe 205 to 319.

聖ミリャン・デ・ラ・コゴリャの生涯Ⅱ

ゴンサロ・デ・ベルセオ作 太田強正訳

作者 Gonzalo de Berceo は西ゴート支配時代に現在の Rioja 自治州 Logroño 県の Berceo 村に 1200 年の数年前に生まれ、「教養派文学」(Mester de Clerecía) の詩人として多くの作品を残した。これは中世スペインの主に聖職者による文学の流派で、読み書きのできない吟遊詩人 (juglares) による mester de juglaría と対をなすものである。

この作品は San Braulio de Zaragoza によってラテン語で書かれた聖人伝 Vita Beati Emilianii にベネディクト会の修道院の司祭であった Berceo が着想を得たものであり、cuaderna vía と呼ばれる 1 行 14 音節同音韻 4 行詩で 13 世紀に書かれている。

この舞台となった修道院は聖 Millán (474-574)、ラテン語で Sanctus Aemilianus によって建てられたもので、ここで 10 世紀前半にスペイン語の最初の記録である Glosas Emilianenses (サン・ミリャン註解) が書かれた。彼は自分の建てたベネディクト会の修道院の司祭であり隠者でもあった。

今回は第 205 連から 319 連までを掲載する。訳は言葉が違うので韻を踏ませることはできなかったが各行ごとに付けた。そのため日本語として通るように原文にない接続詞などを補わなければならない箇所があった。

本稿は BIBLIOTECA CASTRO の OBRAS COMPLETAS GONZALO DE BERCEO によるが、英訳を参照した。

- 205 人々は他の多くの事例を挙げましたが
このことだけには腹を立てていました
この夜回りが人々を侮辱したと言うことでした
それで人々は死んだか首を落とされたと思いました
- 206 彼らは非常に混乱していたので叫び声を上げました
かつて彼はコゴリヤで彼らを打ち破っていたのです
そのような下劣な人間にばかにされたら
彼らは生まれないほうがずっと良かったでしょう
- 207 サン・ペラヨ¹⁴⁾で悪魔と戦った者が言いました
《仲間たちよ、聞いてくれ、気絶しないなら
背中と肋骨がどういう状態なのか見てくれ
我々はそんなにひどい試練にあったことがない》
- 208 トゥエンシオの奴隷の中から彼が取り出した五人は
苦悩して沈黙を破らなければなりませんでした
彼らは言いました：《仲間たちよ、これが君たちの苦しみだ
我々のと比べると光も価値もない》
- 209 オノリオの客はひどく追求され
手を頬に当て、自分の不運を嘆いていました
彼は恥ずかしくて人前には出ていけないと言いました
もしミリャンの傲慢さが仕返しされなければ
- 210 彼らはこの不祥事に深く関わらなければならなかったのです

他のどんな問題も扱うことができませんでした
 しかし道理や知恵をおろそかにしませんでした
 再び過ちに落ちることのないように

- 211 一人の告訴人が中で立ち上がりました
 彼は多くの悪い仕草と謀反の身振りをしました
 一私の言うことを聞いてください、皆さん—と言いました、我々
 は皆卑しい者だ
 そうでなければこのような恥ずべき男のために涙はしない

- 212 しかし私には考えがあります、道理にかなっていると思います
 夜に皆一緒になって
 手に燃える松明を持ちましょう
 そして彼の寝ている床に火をつけましょう

- 213 彼が起きている時に彼を襲うと
 私たちを聞きつけて助けが入るでしょう
 私の助言を信じて私の命じる通りしてください
 泣いていては決して復讐はできませんから》

- 214 これは良い考えだと皆に思えました
 この汚い会議はすぐに解散して
 各々すぐに谷に散って行きました
 乾いた束か古いヒースを探しに

- 215 良き人が眠りについたときに偽りの不信心者たちは彼の計画に従

いました

彼らはすぐに火のついた束を持ってきて

聖人を焼くために全員集まりました

216 彼らが燃える束を寢床に近ずける前に

炎がのみのように逆になり

彼らの髭と顎を焼き

彼らの反逆はすべて失敗しました

217 炎のいたずらは彼らの歯にまで達し

お互いひどく責め合いました

彼らは各々他の者たちが自分たちを焼いているのだと思いました

そして各々他の者たちをとがめていました

218 そこに来たすべての者の中にこの思いが入り

彼らはひどい不和に陥りました

善意がなく、不信に満ちて

お互い悪い振る舞いになりました

219 彼らはお互い力一杯殴りあい始め

全然許し合いませんでした

非常に大きな不和が不幸な者たちにの間に生じ

バビロニアでもこれ以上の混乱¹⁵⁾はありませんでした

220 彼らは大きな燃えさしで顔を傷つけ合い

血まみれの焦げたまつ毛

ひどく打たれた額と焼けた髭をしていました
 あなたたちはこんなに乱れた髪の毛の酔いどれ女を見たことはありません

221 彼らは燃えさしを捨て
 髪の毛と胸ぐらをつかみ合い
 拍車で殴りあい、棒で激しく突き合いました
 攻撃の限りを尽くすため、彼らは氣を入れました

222 創造主の僕である価値ある証聖者は^{しもべ}
 頭を上げあたりを見て
 この騒ぎが熱のこもったものであることが分かりました
 彼はもう少しで笑いだすところで、大いに喜びました

223 彼は栄光の乙女の御子に感謝を捧げました
 御子は世界を救うために彼の妻から生まれました¹⁶⁾
 なぜなら彼はこういう事は御子のために起こったことを理解して
 いたからです
 そしてこの反乱が御子を害する事はなかったと

224 その良き人は以前と変わらず
 相変わらず病人を癒していました
 悪魔たちは逃げ出し、その場を離れました
 彼らはもうこれ以上憤怒の仕返しはできませんでした

225 日々その聖なる男の出費が増えていきました

貧者が糧を得るために彼についていきました
彼はこのために穀倉を立てようと思いました
貧者のために、他の理由ではなく

- 226 彼は必要な木材を探し
親方たちに頼み賃金をカットしました
彼らは梁を適生な長さに測りました
何かの誤りに落ちに陥らないように
- 227 彼らは梁を揃え、削り
長さが余ったもの切りました
つなぎ目を固め、台になる石を据えました
そして良い報酬をもらい、それを正当と思いました
- 228 すべての木材を切った時
梁の一つが短いことが分かりました
一同作業をやめ、呆然としました
というのは一同ひどい過ちを犯したと思ったからです
- 229 親方たちは皆悲しんでいました
価値ある証聖者はチャペルを出てると
彼らが狼狽して青ざめているのを見て
事は不名誉な事だと思いました
- 230 彼らは証聖者に心配ごとを話しました
梁の一つが短かったと

証聖者は言いました：《元気を出しなさい、嘆いてはいけません
神が我々に助けを、彼の完璧な力をくれるでしょう

231 友たちよ、食事をしに行きなさい、昼食の時間です
我々は教会に行きましょう、祈りの時間に
我々を創造してくださった天の王が
すぐに我々に助けを送ってくれます》

232 使用人全員がすぐに昼食に行き
価値ある証聖者は祈り始めました
彼が何を言ったか何を言わなかったかを我々は知る事ができません
しかし大きな心配事にそして適切な時に役に立ちました

233 証聖者は教会を出て、彼らは昼食を取り終わりました
あまり味わうことができませんでした、大きな悲しみをかかえて
いたので
彼らはその事で何の助けも得られませんでした
別の梁を探しに山に行く以外は

234 親方の一人が材木を測りに行きました
どれだけ不足していて、どれだけ補わなければならないかを見る
ために
普通よりよく補えました
そしてすこし余りました、あなたたちに偽らないために言うと

- 235 彼らはこのことを確認しなければなりませんでした
その時彼らにはこれ以上の喜びはなかったでしょう
彼らはその聖人には大きな力があると言っていました
神がこんなに早く彼らを助けに来ることを望んだのだから
- 236 その良き人は彼らに言いました：《噂はよしなさい
あなたたちの自愛のため、その話はしないように》
あなたたちが言っている事は忘れなさい
失った物を取りもどしたのだから
- 237 余った部分は梁から切り離され
狭い場所に遺物として安置されました
そしてこの木によって多くの素晴らしい奇跡が示されました
この木がひどく萎えた人やひどい悪魔憑きを直したのです
- 238 大工たちが神と穀倉を完成させました
価値ある証聖者は彼らに賃金を払いました
職人たちは道に出て帰宅しました
証聖者は貧者と仲間たちと留まりました
- 239 ある日たまたま多くの貧者がやって来ました
皆腹を空かしてろくに着る物もなく
その良き人に衣服を強く求めました
彼は彼らに与える物がなく非常に悲しんでいました
- 240 彼は他にないので着ているマントを取り

上着の袖の上に体を覆っているマントを取り
 他に持っていなかった所以他们に与えました
 すこしでも持っていたら隠しはしなかったでしょう

241 その中に非常に評判の悪い人間が一人いて
 それを持って逃げようとて、不正にもそうしました
 しかし彼は留まった方がよかったでしょう
 なぜならそこでは法が支配し、彼は借りを支払ったのですから

242 他の仲間たちはそれを知ると
 皆彼を杖で打ち傷つけ
 彼らにしようとしていた悪行に十分な裁きを下したのでした
 十分に食べると、ひどい攻撃はしませんでした

243 神が彼を愛していたのがはっきり分かります
 その卑しい人間にそのような裁きを与えた時に
 その上この善例が聖マルティンと並びました
 彼は着ていたマントを貧者に分け与えたのです

244 数日してから病人も健康な人も
 非常に多くの人が行きました
 その聖人を会い、手に接吻するために
 彼のためにコゴリヤの山々が有名になりました

245 その後彼らはとても暑かったので困り
 完熟のブドウから作ったぶどう酒を喜んで飲みました

キリストの僕^{しもべ}はとても困っていました
わずかな量のぶどう酒しかなかったので

- 246 強い人である貧者たちの御父は
創造主に愛され、困難に在って決然として
人々が牧場^{まきば}に腰を下ろすように命じました
そして余ったぶどう酒を彼らに与えるように
- 247 人々は腰を下ろし、ぶどう酒が持ってこられました
それをすぐに小さな皮袋に満たし
その良き人は彼の分配係に命じました
金持ちも貧者も見捨てられないようにと
- 248 証聖者は彼の聖なる手でコップを祝福し
その良き注ぎ手はぶどう酒を彼らに振舞いました
大人も子供も病人も健康な者も
十分に飲まなかった者はいませんでした
- 249 人々は皆喜んで満足し
彼らは皆その豊富な量に驚嘆させられました
そして彼らを満たしたのは徳だとわかりました
そうでなければ三十人も満足していなかったでしょう
- 250 聖ミリヤンの内にあった完璧な慈悲と
その仲間である聖なる信仰が
ぶどう酒をこのような方法で増やしたのでした

そこではこれらが一体となって、けして穀物が不足することはありませんでした

251 おお、慈悲である聖なる母よ、あなたは何と価値のある御方でしょう

あなたの名はこんなにも甘美で、あなたの恩寵はこんなにも高潔です

あなたは決して扉を閉じず、どんな事も軽んじません

あなたは決して高額な事業にも顔をしかめません

252 こなにも高貴なこの徳、こんなにも大きなこの恩寵

それはこんなにもわずかなぶどう酒でこんなにも多くの仲間を満足させ

山を出て野に響き渡りました

スペインでそんな人はかつて生まれた事がないという噂でした

253 貧者たちは各々自分の場所から動き

その良き人のところに共に生活するために行き

苦しい仕事から逃げるために良い助言を得ていました

なぜなら自分たちをただで養ってくれると思っていたからです

254 ある日彼らに与える物がなかったことがありました

この世でこれよりひどい心痛が彼に来ることはなかったでしょう

彼は鍵番によく確かめるように頼みました

しかし鍵番は都合の良い知らせを彼に見つけられませんでした

- 255 聖ミリヤンは責めました、間違っていると思ったので
聖ミリヤンは彼に信仰の薄い愚か者だと言いました
なぜなら創造主は乙女において我々のために肉を与えられたのだから
彼らを助けてくれるはずの父なのだから
- 256 この言葉の少し後
その価値ある人に多量の食料が届きました
彼の友オノリオが贈り物として彼に与えたのでした
オノリオを彼が大きな苦しみから救い出したのです
- 257 証聖者は食料を受け取り、神に感謝を捧げ
必要としている人々に食事を与えました
この聖なる男はこのような多くの贈り物を得ていました
しかしすぐにそれらを古くならないように分け与えていました
- 258 オノリオの贈り物は非常に気前の良いものだったので
なくなるまで長い時間がかかりました
管理人自身が驚嘆していました
そして疑ったのは間違いだと知りました
- 259 この二つの奇跡は考えてみると
兄弟のようで良く似ていました
わずかなぶどう酒で多くの人を満足させ
今度は食料が食べる人で増えました

- 260 その良き人はひどく弱っていました
 老い痩せ衰えていたのです
 完璧な理解のある何人かの聖なる女たちが
 愛する父のように諸事において彼に仕えていました
- 261 彼女たちは彼の足元に座って良き言葉を聞いていました
 そして喜んで貧者たちに食べ物に分け与えていました
 皆神にしっかりとした心を抱いていました
 それ故悪魔がひどい苦痛を感じていたのです
- 262 その良き人は彼女たちと一緒に座っていました
 彼女たちに多くの善行を話しながら
 不倶戴天の敵は悪知恵に満ちて
 怒りの復讐の方法を考えました
- 263 呪われた獣は彼の背中に乗って
 良き人に狂った口論をしかけました
 《ミリャン》、と獣は彼に言いました、《お前は何かをしでかした
 こんなに醜いことをした人はいなかった
- 264 おまえのすべての願いは変わった
 夜も昼も婦人たちと楽しむことに
 黙っていたけれど、私はお前のことがよく分かっていた
 お前の偽善がこうなるだろうと
- 265 私が見たいと思っていたことを見ている今から

お前のすべての断食に対して私は何も与えないだろう
勲の価値はその目的にある
それをお前は全くの稚技に変えた》

- 266 苦しい生活を送ったその良き人は
それが誰だか良く知っていて、そのため何も与えませんでした
悪魔には非常に強い怒った返答をしたので
それが棍棒での一撃のようになりました
- 267 《お前は嘘をついている、偽りの裏切り者よ、お前は本当のことを
言っていない
偽りを言うのは遺伝のせいだ
お前とお前の仲間は私を知るべきだ
私に偽りの罪をきせることのないように
- 268 私と戦ったときお前はわずかしか得るものがなかった
私の友のオノリオがお前を懲らしめたのだ
お前が私を焼こうとした時、彼はお前を全然知らなかった
お前は生涯不名誉を負うことになるだろう
- 269 お前たちについて何度も私に裁きをさせた方は
お前たち自身に燃えさしを押し付けさせた人だ
その方はこれらの苦悩する肉体の番人となるだろう
お前の悪意のある言葉が彼らを害さないように
- 270 悪魔が混乱したのはこれらの言葉ででした

悪魔はこんな屈辱を受けるとは決して思っていませんでした
 気力を失いその良き人のもとを離れました
 彼を攻撃しようとは決して思わなかったでしょう

- 271 広い心の持ち主であるその価値ある証聖者は
 荷役用の動物であるラバを持っていました
 トゥリビオとシンプロニオ¹⁷⁾はそれを嫌って
 邪心からバルガの牧草地からそれを盗みました
- 272 良き人はラバを乗るためではなく
 貧しい人たちのために薪を運ぶために持っていました
 馬鹿者達が欲に目が眩んで
 折悪しくそれを盗みに行きました
- 273 まだ修道院から遠くに行っていない時に
 その重大な罪にひどく混乱して
 各々顔の片方の目を失いました
 それでクルミでも眼窩に入ったでしょう
- 274 彼らは恥じ入っていましたが良き人のもとに帰り
 ひどく動揺してラバを彼に返しました
 跪をついて慈悲を乞うと
 良き人は穴の空いた目を彼らに返してやりました
- 275 聖なる人は彼らに厳しい返事をしました
 《友達よ、君達は傲慢と狂気で事を始めました

創造主は君達の行いに心を痛め
その不品行を罰したいと望まれました

- 276 よく分かっているなら、君達は助かったのだ
君達は首つりに価したのだから
しかし片目だけで罪を逃れままだ
両目で地獄に落ちるよりは¹⁸⁾
- 277 償いをしに家に帰りなさい
そして二度とこのような過ちに陥らないように注意なさい
神が君達にこのような正当な判決を下したのだから
友達よ、辛抱してそれを受けろべきです》
- 278 彼らは自分の家に向かって道に出ました
ミリヤンは動物を売りました、飼っていたくなかったのです
それからすぐにそのお金が貧しい人たちに使われました
それを必要とする足の不自由な人々や片腕の人々のために
- 279 その完璧な人は、神をとっても愛していて
日々を重ね百歳近くになっていました
神が彼に送る知らせを理解していました
彼のすべての苦しみが一年で終わるだろうという
- 280 良い知らせにその良き人は満足しました
この世でこんな良い知らせを聞いたことがありませんでした
疲れていましたが自分の仕事に戻りました

中年の時はこれ以上強烈な人生は送っていませんでした

- 281 肉体をさいなみ、辛い生活を送りながら
彼はカンタブリア¹⁹⁾ が神を軽んじていたことを知りました
もし改善がなければそれは滅ぼされたでしょう
なぜなら神はそれに怒っていて、それを忌み嫌っていたので
- 282 彼は修道院を出て彼らを諭そうとしました
魂を救うためには苦難は苦になりませんでした
彼らは彼を信じようとも耳を傾けようともしませんでした
ついにはこれが高くつくことになりました
- 283 彼は助言として厳しい予言を彼らにしました
もし狂気を止めようとしなければ
皆滅ぼされるだろう、その日は近いと
なぜなら皆異端を植えつけられていたのだから
- 284 神に見放されたある愚かな騎士が
名をアブンダンシオと言うのですが、口が非常に悪く
証聖者に言いました《年寄りの気狂いの物忘れよ
お前はまったく子供の頭に戻った》
- 285 彼は卑劣で傲慢で品行の悪い男で
証聖者に狂った聞き苦しい言葉を吐きました
良き男には彼の大きな過ちが苦痛に感じ
彼に向かって厳しいことを言いました

- 286 《騎士よ、知りなさい、これは真実です
私はあなたに大事な秘密を打ち明けよう
外国の軍がこの町を包囲しに来る
彼らは私にあなたの悪辣さに対する裁きを私に任せるだろう
- 287 戦いに出る時は、あなたは前衛でしょう
そこに出たすべての者のうちあなたが最初に死ぬでしょう
彼らは町を破壊し、高台も役に立たないでしょう
そこには歩兵も騎士もいなくなるでしょう》
- 288 預言をしてその良き説教師は
創造主に仕えるために自分の教会に戻りました
カンタブリアはその悪しき過ちに留まりました
もし人々がミリヤンを信じていたらずっと良かったでしょう
- 289 何日も経たないでその重大な罪のために
レオビルヒリオ²⁰⁾が大群と共にやってきました
カンタブリアはそのすべての臣下と共に対戦しました
王は鉄と革の鎧をつけた多くの兵士を近くに送りました
- 290 彼は非常に勇敢に戦い始めました
敵の所に到達するために城壁を壊し
美味しい贈り物ではなくまずい食料を彼らに与え
それは反抗するそのような民にはふさわしいものでした
- 291 町の中にいる者たちは彼らと戦うために出てきました

アブندگانシオは褒美を得るために最初に
しかし激しい攻撃から身を守ることができず
彼は皆の中で最初に死ぬことになりました

292 それ以後他のすべての者たちは敗れ
町は滅ぼされ、壁は倒され
決して再び建て直されたり復興されることはありませんでした
まだ三つの大きな塔だけはそこで抵抗していますが

293 聖ミリャンの言ったことを人々は見ることになりました
彼の預言から逃げることはできませんでした
彼らは悪い人生を送ったのです、悪い死に方をしたので
彼らのした反撃が非常に高くつきました

294 真の預言者である祝福された体は
心からの殉教者であり、神の忠実な働き手である体は
確かに苦難から立ち去るところでした
なぜなら最後の月が近かったからです

295 知らせが来るのを待っていると
彼の脇腹がちょっと痛み始めました
その時から体全体が病に冒されていきました
彼は人生が終わりを迎えたことがよくわかりました

296 弱った時に彼は仲間を呼びました
共に育った良き人であるアンセルムスや

少なからず重要な他の聖なる弟子たちです
そして非常にわずかな時間で大会議が開かれました

297 彼が死のうとしていることが皆はっきり分かっていました
彼の死に悲しみと苦痛と感じていました
大きな悲しみのため読むことも祈ることもできないでいました
なぜなら見つけることができないかもしれない助けを失いつつあ
ったからです

298 常に思慮深い人である価値あるその証聖者は
苦難に際しても思慮を失いわず
名誉ある仲間である彼の弟子たちを諭しました
彼の死にいかに関心が彼らが自分自身を保つかを

299 証聖者は魂が出て行く時彼らに言いました
《友たちよ、私が死にたいのがよく分かるだろう
時は来た、私は別れを告げたい
あなたたち皆の庇護のもとの世から去りたい》

300 その時証聖者は才あるその手を上げ
彼の価値ある口が皆を祝福し
彼らを神と栄えある乙女に託しました
彼らを危険な罪から守るように

301 証聖者は良き勤めを果たすため自分自身を聖別し
両方の手のひらを広げて慎重に合わせ

全く平静に両目を閉じ
魂を神に渡し、死を遂げました

- 302 近くに天使たちがいて、魂をすぐに受け取り
大々的な賛歌を歌いながらそれを天にあげました
そして大行列でそれを神に捧げ
彼と共にすべての聖人たちが二重の祝いをしました
- 303 すべての証聖者たちが大喜びしていました
なぜなら自分達の仲間にこのような人が来たからです
彼らは仲間全体がより良いものになると言っていました
このような人が毎日三人来てくれることを願ったでしょう
- 304 聖なる長老たち、先人たち
そして謎めいた言葉のすべての預言者たちが
大いに喜び聖なる歌を歌っていました
皆が彼に敬意を表し大行列をしていました
- 305 完璧な王子である十二人の使徒たちは
彼らはキリストの掟の擁護者だったのですが
そのような高貴な客人と共にあって名誉だと思っていました
彼らは綺麗なハーモニーの歌やメロディーを奏でていました
- 306 キリストのために死んだ殉教者たちのコーラスは
彼らは魂を救うために肉を捨てたのですが
白い肩衣²¹⁾で彼のために行列しました

彼らが彼に与えた名誉は想像できなかったでしょう

- 307 乙女たちの喜びは誰が想像できたでしょう

皆冠をつけて彼を訪問に来ました

彼女たちはこれ以上の喜びを持つことも示すこともできなかったでしょう

彼に大いに名誉を与えるために熱意を注いでいました

- 308 天の王と彼の栄えある母が

彼に素晴らしい椅子と貴重な冠を与えました

天と地には素晴らしい名誉を

そのため彼は高い名声を受けるのです

- 309 彼の魂が神と共にありますように、私たちは彼の肉体に戻りましょう

このような貴重な遺物を放棄しないようにしましょう

彼を埋葬し奇跡を物語りましょう

それらは我々が読むようにそこで示されました

- 310 彼が育てた聖なる弟子たちは

彼らは聖なる生活を送り、思慮深く、慎重な人たちですが

聖なる肉体の近くで非常に悲しんでいました

ため息まじりにさめざめと泣きながら

- 311 嘆きや悲しみは大きかったのですが

彼らはそれがそこから大きな喜びを得る別の力であることを見て

いました

彼らはその事が大きな権威ある事なので
地域全体を照らすだろうことを知っていました

312 彼の僕で貴重な臣下であるアンセルモは
信仰の篤い多くの良き人々と共に
価値ある人の体を白衣で包みました
埋葬して彼のために行列するために

313 石が体に合わせて切られ
幅と長さが正しく計られました
しかし我々が信じるように以前に調整されていました
彼自身が生きているうちに用意したのです

314 体は洗い清められ、衣を着せられ
板で閉じられ、しっかり釘付けされ
大きな敬意をもって埋葬されされて
すべての秘儀で忠実に執り行われました

315 祝福された主である天の王は
良き証聖者の良き体に名誉を与えるために
この作業に多くの奇跡を示しました
それらを私はより良くお話しできないでしょう

316 多くの悪魔憑きが墓のところで癒され
盲人が見えるようになり

手や足の不自由な人たちが治り
すべての病人が大きな助けを見出しました

317 皆さんそして友たちよ、ここにいる我々すべての人たちよ
我々は価値ある証聖者をあがめるべきです
あなたたちに約束していた事を我々は果たしました
なぜなら我々は第二の書をここで終えるからです

318 我々は彼の価値ある人生をあなたたちに語りました
魂が肉体を離れるまでを
しかしまだすべての話が完成されていません
なぜなら彼の思い出はその後さらに輝きましたから

319 その後高潔な証聖者は力を発揮しました
なぜなら大きな名声を得たからです、以前よりももっと
彼の修道院が立派に引き継がれました
そこで神が仕えられ聖ミリアンの名が語られて
いるからです

注

- 14) かつてあった庵
- 15) バベルの塔のことのようである
- 16) ここは「乙女マリアから生まれた」の誤りであろう
- 17) 下働きの者たちであろう
- 18) 新約聖書マタイ伝 5：29、18：9、マルコ伝 9：47
- 19) リオハとナバラの間の丘にあった町
- 20) キリスト教アリウス派の最後の西ゴートの王レオビヒルド

21) 司祭が祭服の下につける布

参考図書・辞書

- BIBLIOTECA CASTRO OBRAS COMPLETAS DE GONZALO DE BERCEO Madrid 2003
 The Collected Works of Gonzalo de Berceo ACMRS Arizona 2008
 Diccionario Medieval Español Martín Alonso Universidad Pontificia de Salamanca 1986
 Diccionario de Castellano Antiguo Manuel Gutiérrez Tuñón Editorial Alfospolis 2002
 Tentative Dictionary of Medieval Spanish Lloyd A.Kasten and Florian J.Cody The Hispanic Seminary of Medieval Studies New York 2001
 Diccionario de la Lengua Española Real Academia Española Espasa 2001
 スペイン語大辞典 白水社 2015